

OPEN CAMPUS

淑徳大学東京キャンパス

2024年度

体験授業 テーマ一覧

人文学部 表現学科



○内容は変更になる場合がございます。○体験授業への参加はオープンキャンパスの事前予約が必要となります。

日付	担当講師	テーマ	概要
6/23 日	 田中 則広	「世界の喜劇王が訴えた 戦争諷刺」 ～チャールズ・チャップリンの 『担へ銃』(1918年作品)を題材に～	20世紀を代表する世界の喜劇王チャールズ・チャップリン (Sir Charles Spencer Chaplin)。この授業では、1918年に公開されたチャップリンのサイレント作品『担へ銃』(になえつつ、Shoulder Arms)を題材として、戦争をコメディにすることの「意味」を考えてみたいと思います。
7/21 日	 杉原 麻美	「世界の絵本& ベストセラー絵本から 見える社会」	日本の出版市場の中でも売上が堅調な「絵本」ジャンル。長く読み継がれるミリオンセラーから時勢をとらえた作品まで、様々な本が出版されています。3万冊以上の世界の絵本コレクションを誇る「絵本のまち板橋」、開催中のイタリア・ボローニャ国際絵本原画展を紹介しながら、絵本から見える社会、出版文化について学びます。
	 田中 則広	「19世紀末の映画遺産」 ～「映画の父」リュミエール兄弟の 作品とともに～	「映画の父」と呼ばれるフランス出身の発明家リュミエール兄弟。19世紀末(1895年)にパリで世界初の実写映画を上映した彼らは、映像の魅力を追求し続けました。この授業では、リュミエール兄弟が製作した『工場の出口』(1895年)や『ラ・シオタ駅への列車の到着』(1895年)などの作品を観ながら、草創期の映画史を振り返ります。
8/4 日	 杉原 麻美	「雑誌編集における 撮影ディレクション」	Webでの情報収集や閲覧が主流になっている現代でも、とくにファッションやアート等ビジュアルでの訴求が求められるジャンルでは、紙媒体だからこそその魅力が存在します。そんなビジュアル誌の編集現場で求められる撮影計画や写真撮影について学びます。
	 田中 則広	「奇術師ジョルジュ・メリエスと 魔法の映画」	フランスの映画監督、ジョルジュ・メリエス(1861-1938)。彼は奇才のマジシャンでもありました。草創期の映画に魅了されたメリエスは、ある時、マジシャンとしての力を発揮して、様々なトリックを用いた作品の製作に乗り出します。この授業では、メリエス監督の作品『ゴム頭の男』(1901年)、『月世界旅行』(1902年)などの作品を紹介しながら、トリック映画の歴史を振り返ります。

8/25



中野 正昭

「演劇入門」

表現学科では1年生必修の「演劇発表会」があります。全員参加で行う一年生の総仕上げとなる授業です。戯曲ってどう読めばいいのかな。演技って難しそう。演出って何をやるんだろう。そんな疑問のある人もいます。この体験授業では戯曲、演技、演出の極々基本的な考え方についてお話ししてみたいと思います。

9/8



佐々木 裕里子

「多彩な翻訳表現の世界
-『不思議な国のアリス』を例に」

物語を読むのは好きですか？外国の物語は「翻訳」によって、同じ物語でも印象ががらりと変わります。その多様な表現に触れてみましょう。そして、少しだけやってみましょう。

2025年
3/23

小川 博章

「深読み日本昔話」

昔話の「桃太郎」は、桃太郎が鬼を退治するお話ですが、なぜ「桃」なのでしょう。「ミカン太郎」や「リンゴ太郎」ではいかがでしょう。そもそも「鬼」とは何でしょう。登場人物を深読みしたり、時代背景を確認することで昔話の楽しさを再確認したいと思います。